

関北部 地区

まちづくり協議会

■ 設立日

平成28年4月24日

■ 人口・世帯数

1,266人・641世帯

(基準日:令和3年10月1日)

■ 区域

関町会下、関町鷺山、関町白木一色、関町木崎(あけぼの台)

■ めざす姿

一人ひとりが安全・安心な暮らしを実感できる仕組みと誰もが健康で潤いのある暮らしができるまち

■ 地域の誇り

各種団体と協力しながら、地域住民の親睦を深め、地域活性化と福祉の向上を目指して活動している



関北部地区まちづくり協議会では、コロナ禍の影響で、ほとんどのイベントが中止を余儀なくされました。そのような中、敬老会を開催する代わりに、直接高齢者のお宅を伺って、お祝いの記念品を贈りました。敬老会のように集まることはできませんでしたが、皆さんの元気な姿を確認できました。一方、サークル活動では、入退室時の手指等の消毒などの感染対策を徹底した上で、コロナ禍以前と同様に積極的な活動を行っています。

今後は、皆さんが暮らしている地域にさらに関心を持ってもらえるように、地域住民が話し合ったり協力し合ったりしながら、より良い地域づくりが行える組織の構築を目指すとともに、地域の一体感と信頼関係に基づいたつながりを大切に、子どもから高齢者まで、すべてのひとに優しく、安全で安心な暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。



関南部 地区

まちづくり協議会

■ 設立日

平成26年4月20日

■ 人口・世帯数

849人・365世帯

(基準日:令和3年10月1日)

■ 区域

関ヶ丘、関町古厩、関町萩原、関町福德、関町久我、関町金場、関町越川

■ めざす姿

安全・安心に暮らし、幅広い世代が交流するまち

■ 地域の誇り

大和街道から伊勢別街道へと続く、歴史ある自然豊かな地域



関南部地区まちづくり協議会は、関町の南部に位置する7つの地区からなる自然豊かな地域です。

コロナ禍でも、基本的な対策に加え、イベントの開催期間を延長して密を避けるなどの感染予防対策を取りながら、屋外を中心に活動しました。本年度の夏恒例のふれあい納涼会では、祭り櫓を設置して太鼓演奏や盆踊り、花火大会を楽しみました。秋は、関南部地区コミュニティセンターで練習している音楽サークルのミニコンサ-

トを開催、年末のまちおこしフェスティバルでは、初めて久我獣害対策捕獲チームによる活動の報告や実演会、毎年好評の産直バザーや手づくり作品展を行いました。そのほか、地域の歴史文化に触れてもらえるように、史跡調査の結果をホームページで発信しています。

今後は、ジビエ料理の研究や「ふれあい菜園」の実施、各世代、各地区をつなぐ交流の場としての活動も行っていきます。



加太地区

まちづくり協議会

■ 設立日

平成27年5月9日

■ 人口・世帯数

913人・409世帯
(基準日:令和3年10月1日)

■ 区域

加太市場、加太向井、加太樋ヶ坂
加太神武、加太板屋、加太北在家
加太中在家

■ めざす姿

美しい加太、元気な加太、誇りある加太

■ 地域の誇り

緑豊かな山林資源、美しい山村風景、加太越え奈良道や鹿伏兎城跡などの歴史的遺産がある

加太地区まちづくり協議会では、コロナ禍で大きなイベントや行事が開催できない現状を踏まえ、亀山市地域活性化支援事業による「日本一周ウォーキング」を本年度実施しています。現在100人以上が参加しており、自己の健康増進と地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。また、地域交流部会では、新しいイベントとして、「レッツ遊べるスポーツ」を加太小学校体育館で開催し、子どもを含めた



約40人がモルックなどのスポーツを楽しみました。福祉部会では、一人暮らしの75歳以上の37人に対し、見回り訪問と敬老会の記念品を渡しました。地域づくり部会では、猪元堰堤上にこいのぼりを泳がせ、加太地域の新しい景観と地域住民の元気付け事業を行いました。令和4年3月には、JR加太駅舎の改修工事が完了するため、地域住民の交流や加太地域の名所旧跡や鉄道遺産などの情報発信の場として活用していきます。

坂下地区

まちづくり協議会

■ 設立日

平成28年4月24日

■ 人口・世帯数

237人・121世帯
(基準日:令和3年10月1日)

■ 区域

関町市瀬、関町脊掛、関町坂下

■ めざす姿

地域みんなが前へ踏み出すまち～ええやん坂下～

■ 地域の誇り

生き生きとした生活を楽しみながら、住民が元気に安心して暮らしている



坂下地区まちづくり協議会は、すでに高齢化率が55%に達し、超少子高齢社会に入っており、今後ますます厳しい状況に向かうことが想定されます。

このような地区の事情から元気に楽しく暮らしていくため、生き生きと活動し、健康寿命を延ばして、楽しく暮らすための行事を中心に進めています。令和元年度から、フレイル対策として身体能力の把握から運動の習慣化、健康料理の知識の普及と提供を始め、令和2年度には、新型コロナ感染症対策を

踏まえ、個人単位で参加できる坂下健康マイレージ事業の実施や健康メシの配布、さらに令和3年度は、「腸活」による免疫力アップを目指し、地産地消の石焼き芋の配布をプラスした「健活」づくりを推進しています。

本年度から、新たに生活上のちょっとした困りごとを解決する「ちょこボラ」にも挑戦しており、今後も引き続き、多様な活動～ええやん坂下～を生み出す活動をしていきます。